

安全・確実・迅速をモットーに 人命救助技術を競う



第35回消防救助技術東海地区指導会



津消防タイムズ

第 8 号

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
☎224-1881
救急医療案内
☎256-1199

人命救助 最優先

八月四日、鈴鹿市石薬師町の三重県消防学校において第三十五回消防救助技術東海地区指導会（全国消防協会東海地区支部主催）が開催され、東海三県の七十四消防本部から選ばれた救助の精鋭たち八百六十六人が参加しました。

陸上の部では、高所に水平に張られたロープを往復して渡り、救助を行うロープブリッジ救出など七種目、水上の部で

（陸上の部 右上は障害突破、右下はロープブリッジ救出、左上はほふく救出（水上の部） 左下は水中検索性救助

は、救助のための基本泳法や水中での救助など七種目で救助技術を競いました。

当消防本部からは十六名の隊員が五種目（陸上の部・障害突破、ロープブリッジ救出、ほふく救出及び水上の部・複合検索性、水中検索性救助）に出場しました。当日は、真夏の強い陽射しが照りつける中、隊員たちは日頃の訓練成果を発揮すべく、全力を尽くして各競技に挑みました。惜しくも全国大会に進むことはできませんでしたが、悔いのない充実感あふれる表情が各隊員から漂っていました。

救助隊員には、様々な災害現場の状況を瞬時に把握して活動方針を決定し、いかに安全・確実・迅速に救助活動を行うかが要求されます。そのためには強い精神力と強靱な体力、また高度な救助知識が必要不可欠です。

隊員たちは、日頃からの厳しい訓練や勉強会を通じて、いつ発生するかわからない様々な救助事案に万全な体制で対応できるよう備えています。